



敦賀海上保安部
令和元年11月8日
午前11時30分

磯釣りシーズン、釣り中の事故が増加 ～釣り中の事故防止の取組み～

1. 過去10年では、11月は釣り中の事故が年間で一番多く発生しています。

【福井県内での釣り中の事故（過去10年間）】

- 釣り中の事故は11月がピーク
 - 釣り中の事故の6割が海中転落
(半数が防波堤・消波ブロックからの転落)
- 先月、10月には2件の海中転落事故が発生（概要別紙）

2. このため当部では、釣り中の事故防止のため、次の注意事項を呼びかけています。

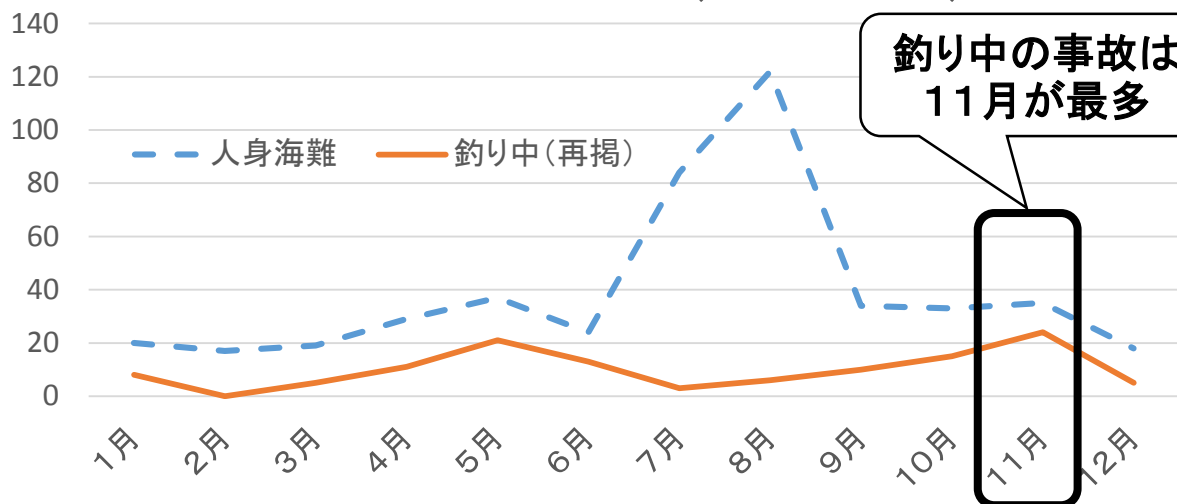
- 必ず救命胴衣を着用（正しい着用方法を確認）
- 足場が悪いところでの釣行は避け、なるべく複数人で行動
- 釣り場に応じた装備・対策（滑り止め付き長靴、懐中電灯・キャップランプ等）
- 釣りをする時間帯とその前後の気象予報、警報・注意報の有無を確認
- 「立入禁止」の防波堤・岸壁には入らない

詳しくは、ウォーターアクティビティの総合安全情報サイト
「ウォーターセーフティガイド（釣り編）」をご確認ください。

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety/07_fishing/00_fishing.html



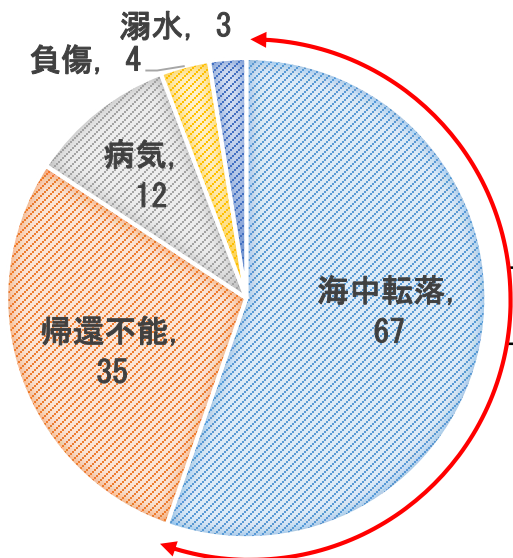
福井県内での人身海難[※]発生状況 (H21～H30)



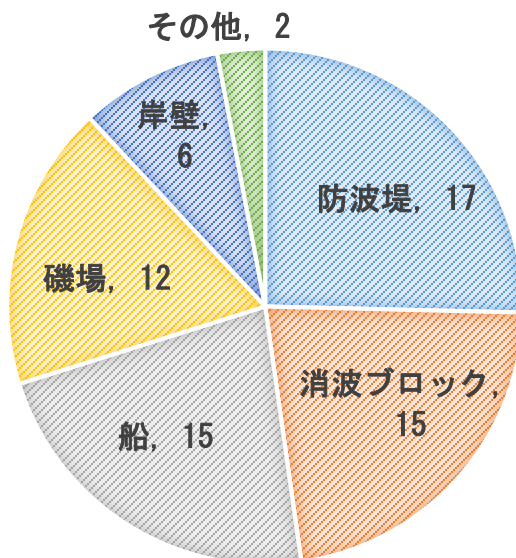
釣り中の事故は
11月が最多

※ 人身海難：衝突・乗揚げなどの船の事故によらない海での活動中の人の海難（本データは自殺を除く）

釣り中事故内訳



海中転落場所内訳



令和元年10月釣り中事故概要

● 磯場からの転落

越前町玉川の磯場で釣り中に事故者が転落するのを近くで釣りをしていた者が目撃したもの。転落時には救命胴衣を着用していたが、途中で脱げたため見失い行方不明となった。

● 防波堤からの転落

事故者は、夜間、越前町新保漁港の立入禁止の暗い防波堤上を、懐中電灯などを持たずに移動していたことから、防波堤の切れ目に気付かず足を踏み外し海中転落したもの。事故者は、救命胴衣を着用していなかったものの、自力で防波堤に這い上がり命に別状はなかった。